

株式会社カケハシが薬局のドキュメンタリープロジェクトを開始 ～Musubiのユーザー薬局から探るこれからの薬局の未来像～

株式会社カケハシ（本社：東京都中央区、代表取締役CEO：中尾 豊、以下「カケハシ」）は、服薬指導・電子薬歴システム「Musubi」（以下「Musubi」）のユーザー薬局を通じて、これからの薬局のあるべき姿を探るドキュメンタリープロジェクトを開始しました。第一弾は「古くてあたらしい薬局」をテーマに、新千里薬局（所在地：大阪府吹田市）のムービーを公開します。



●背景と概要

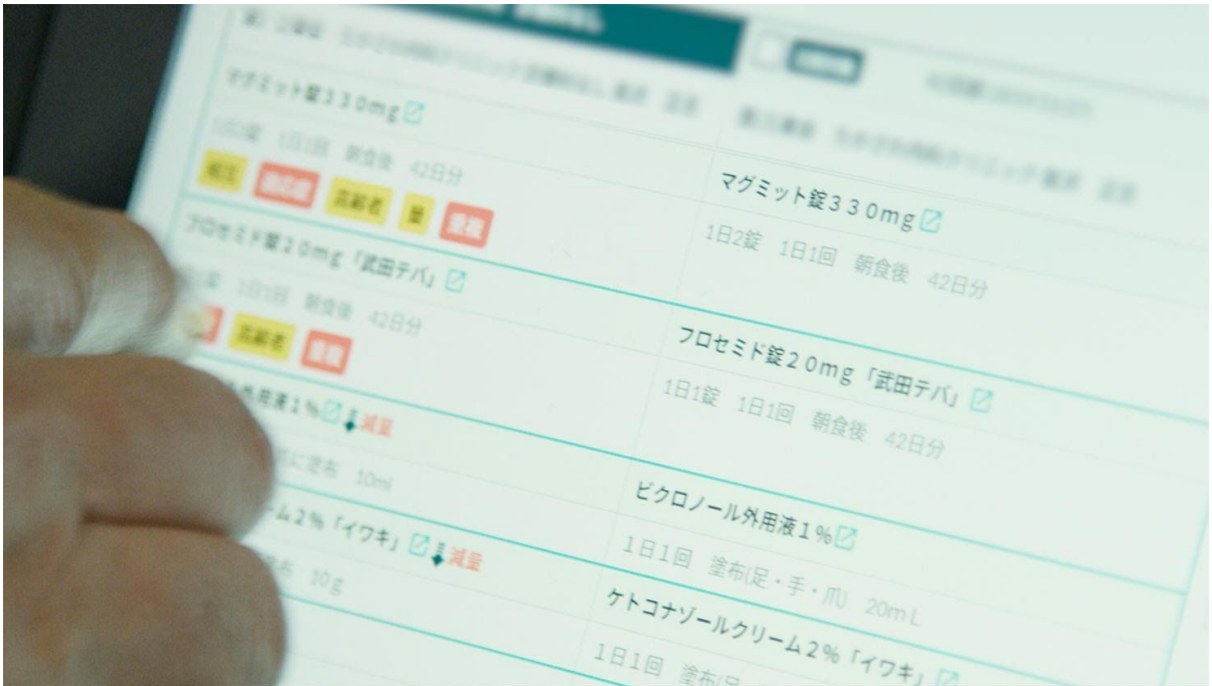
改正薬機法が公布され、2015年「患者のための薬局ビジョン」で厚生労働省が提唱した、薬局における対物業務から対人業務へのシフトが加速しています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、オンライン服薬指導に対して特例的な措置が取られるなど、薬局・薬剤師を取り巻く環境が大きく変化しつつあります。

“薬を渡す場所”から“患者さんに付加価値を提供する場所”へと薬局の転換が進む中、カケハシはこれからの時代にマッチした薬局づくりを支援し、患者さんにとってより良い服薬指導を目指す薬剤師のサポートを強化しています。

このたび、Musubiのユーザー薬局のリアルな姿を追い、“これからの時代に求められる薬局・薬剤師のあるべき姿”を探るドキュメンタリープロジェクトを開始しました。第一弾は「古くてあたらしい薬局」をテーマに、株式会社メタルファーマシー（所在地：京都府京都市伏見区、代表取締役：川野 義光）が運営する新千里薬局のムービーを公開します。外来対応から在宅患者の居宅訪問対応まで、患者さん一人ひとりに対して真摯に寄り添う新千里薬局に、これからの薬局の一つのあり方を見ることができます。

Musubi薬局ドキュメンタリープロジェクト第一弾：

<https://musubi.kakehashi.life/blog/200401-pharmacy-documentary-movie01/>





●Musubiについて

Musubiは、薬剤師の負担を最小に、患者さんの満足度を最大にする電子薬歴・服薬指導システムとして開発されました。薬剤師は、患者さんと一緒にMusubiのタッチ機能付き端末画面を見ながら服薬指導を行い、その内容が自動で薬歴のドラフトとして残ります。

